

本浦小学校閉校記念秋季大運動会

最後の運動会に感謝を込めて



声をかけあい力いっぱい綱を引く児童



玉入れに熱中する児童

感謝の言葉が印刷されたTシャツ

→「紅組倒せ」と声を張る白組応援団長の植元君



本浦ダービーでは暴走する馬に会場は大笑い

10月12日、本浦小学校（富岡乃夫也校長、全校児童1131人）は秋季大運動会を開催しました。

同校は、来年3月に閉校し、4月からは鷹巣小学校と統合することが決定していることから、この日が最後の運動会となりました。

共に6年生で紅組応援団長の白石七海人君と白組応援団長の植元武蔵君の2人が「最後まで精いっぱい頑張ります」と力強く宣誓し、紅白に分かれてエールを交換した後、競技が幕を開けました。

この日は、台風19号が九州に接近した影響で、強い風が吹きつけましたが、児童らは元気いっぱいグラウンドを駆け回りました。かけっこやリレーのほか、昼休みや放課後に練習した一輪車競技、馬の模型を抱えて競争する伝統の本浦ダービーなどで会場を沸かせました。

創立122年の最後の運動会には、保護者のほか、葛輪、本浦、白瀬集落から、多くの地域住民